

報告日 令和6年9月10日
報告回次 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	塩竈市役所	代表者名	佐藤 光樹
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部政策課
担当者役職	主事	担当者氏名	外田友佳子
住所	985-8501 宮城県塩竈市旭町1番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	RPA活用研修
概要	業務におけるRPAの活用に向けて、職員のRPAに関する理解度を高め、自身の業務の中でRPA化に向いている業務を選定することを目的とした研修を開催頂きたい。		
支援を求める分野	RPA導入		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	115	令和6年9月5日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月28日	講演(実地)	14時00分	15時30分	
				活動時間(分)	90

2-2. 派遣場所	会場名	塩竈市役所	最寄駅	西塩釜駅
	所在地	宮城県塩竈市旭町1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPAの説明に入る前に、人口減少等の日本が抱える課題を踏まえ、自治体DXの必要性を丁寧に説明いただいた。さらに自治体システムの標準化についても解説いただいたことで、RPAの導入を職員がより自分事として考えることができるようになったと感じる。また、他自治体の事例として、京都府内等の他の自治体の例や、税業務の例を出していただいたことで、自分の業務にあてはめやすく具体的で分かりやすい講演だった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	15人
	自治体職員	企業・団体	その他(学生など)
	人数	15	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	情報担当課から声掛けして、業務担当課にRPA化する業務を検討してもらって進めている。庁内でRPAの周知ができておらず、より費用対効果が高く、RPA化に向いている業務があるかもしれないが、洗い出しができておらず、RPAの理解度が低いことが課題となっていた。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	RPAの知識がない職員に対して、RPAの概要や導入方法について解説頂き、職員のRPAに対する理解度を高めたい。また、RPA化する業務選定のポイントや、導入の事例を教えてください、効果的な導入業務の選定につなげたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の現状を踏まえた、DX・業務改革が必要な理由について 自治体情報システムの標準化・共通化について RPAの概要、業務改革やRPA導入の進め方について 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	なぜDXが必要なのか、日本の現状や自治体DX推進計画に基づく標準化等の取組も踏まえて説明いただいた上で、RPAについて講義頂いたことで、職員の業務改善の手段としてRPAの理解度が高まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 受講職員がRPAの必要性や概要を理解することができた。また、導入にあたり、上長の理解が得られないという担当課からの質問についても、確実に成果がでる業務から導入し、実績を上げることが重要といった具体的なアドバイスをいただいた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度や、改善したほうが良い点などに関するアンケートを行った。総合的な満足度については、5段階評価で平均4以上の回答を得られた。合わせて今後実施してほしい研修を調査したところ。行政手続きのオンライン化に興味を持つ職員が多く、よりRPAの効果を出すためにオンライン化が必要という点でも理解を得ることができた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 今年度は税務課で1業務にRPAを導入し、実績を出すことで次年度以降の導入につなげていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員の業務効率化及び事務負担軽減を図るため、令和7年度末までに4事業でのRPAの導入を目指す。結果として、定型業務の負担軽減により、住民の市役所での待ち時間の短縮や充実した相談制度の拡充など、行政サービスに関して住民の満足度を向上させることを目標とする。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

